

職員による自己評価

A環境面

・入口前に駐車する車を軽自動車に変えたことでドアの開く範囲が広がった。

B児童への支援内容

・アンケートや保護者面談でニーズや課題をくみ取っている。

・活動の固定化を好む利用者もいる中で、いろいろと工夫は行っている。

・平日にはできない事を長期休暇中に行っているが、きめ細やかさに対し評価は難しい…

・課題に対して個別に準備したり作成したりしている。

・普段と異なる場合、支援開始前に情報共有や確認を行い、支援終了後に気になる事や気付いた事があれば、情報共有や話しをしている。

C関係機関との連携

・未就学からコンブリオを利用している方の情報は共有している。

・他事業所への支援内容の共有は相手側から求められれば提供している。

D保護者への説明責任・信頼関係

・面談や送迎時の引き継ぎで、できている家庭とそこまではない家庭がある。

・ペアレントトレーニングに関しては、面談での質問に対して話すことはある。

・運営規程、支援の内容、利用者負担等について質問があれば丁寧に説明を行っている。

・子育ての悩み等について面談やメール等で相談があれば助言や支援を行っている。

・年4回コンブリオ便りを発行している。

E非常対応

・月に1回は避難訓練を実施できるよう心がけている。

・虐待防止委員会を隔月で定例開催している。

・アレルギー情報は保護者からの聞き取りをもとに行っている。

・ヒヤリハット等の事例集の共有はされているが、全てが次に活かされているかは…。

保護者による評価

A環境面

・専門性に関しては、学習会、資格取得等の内容をあれば公開しても良いのでは

・コドモンの導入で安心されているご家庭あるかと思います。

・最近ニュースなどで、虐待や性被害のこともよく耳にします。こういったことは一般的にも言いつらいことでもあるので、事業者さん側であらかじめ対策をされていると知れると親も安心すると思います。色々と日々大変な中とは思いますが、ご検討頂けたらと思います。

B児童への支援内容

・面談でニーズの聞き取りや課題の提示などが丁寧になされています。

・夏休みのプログラムは、沢山あり、選べて楽しいです。

・いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

・残り数ヶ月しかないということが信じられません。

・ずっと通ってたいです。

・いつも本当にありがとうございます。

・保護者の就労状況に応じて柔軟に対応して頂けているので有難く思っています。

・通いはじめて出来る事が増えています。

・本人も休日も通いたいと言う程、通所を楽しみにしています。

・感謝しています。

C事業所からの情報発信

・不安を感じた時には、丁寧に対応して頂きました。

・苦情があったことがないので分かりません。

・できればもう少し活動内容など発信してもらえれば嬉しいです。

D非常対応

・コメント無し



事業所内での分析

【共通点】

- ・アンケートの結果、職員による自己評価と保護者による評価は概ね一致していた。

【相違点】

- ・専門性に関しては、学習会、資格取得等の内容をあれば公開しても良いのでは
- ・できればもう少し活動内容など発信してもらえればうれしいです。
- ・最近ニュースなどで、虐待や性被害のこともよく耳にします。こういったことは一般的にも言いづらいことでもあるので、事業者さん側であらかじめ対策をされていると知れると親も安心すると思います。色々日々大変な中とは思いますが、ご検討頂けたらと思います。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・保護者の就労状況に合わせ、可能な範囲で柔軟な対応を行っている。
- ・面談や送迎時の引継ぎ、連絡帳等で、子どもの日々の状況を伝え共有する事に努めている。
- ・集団の中で、できる範囲ではあるがニーズに沿った支援に取り組んでいる。
- ・子どもの様子等で、気になる事があった際に職員間で話せる環境ができている。
- ・子どもが通所を楽しみにしてくれている。
- ・季節の変化や日本の文化を知るために年中行事や季節のイベントを行っている。

事業所の改善点

- ・コロナ禍で減っていた買い物や長期休暇中の外出等、社会参加の機会を社会状況の変化に伴い再開させていけたらと思う。
- ・人手不足により平日のデイを開所する事が優先となり土曜の開所まで手が回っていない。
- ・虐待や性被害への対策

事業所の改善への取り組み

- ・感染対策に注意を払いながら夏休みの屋外の外出プログラムを実施した。今後の社会状況の変化に伴って、グループでの活動や体験イベントも再開していきたい。
- ・職員の採用による人手不足の解消と現存の職員のスキルアップを図り、土曜日開所に向け検討をしていく。
- ・子ども家庭庁からの「保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業実施要綱」を受け、カメラによる支援内容の記録などを行う設備等支援を通じ、性被害防止対策として室内にカメラの設置を行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

社会状況の変化に伴い、集団の中でできる範囲ではあるが個々に合わせての活動、コロナ禍で減少縮小していたグループでの活動やイベントなど、子どもの成長につながる活動に挑戦する機会を再開させる事を目指す。評価していただいている事柄に対し慢心せず、引き続き丁寧な対応を心がけていきたい。

事業所名 コンブリオ第三事業所

担当者 三竿 哲也